



「自立活動の視点を生かした協働的な指導について」

～ 3年間の成果と公開研究会の報告 ～

研修研究主幹教諭 芋川 恵美子

令和7年1月24日（金）この3年間の本校の研究の集大成とし、「自立活動の視点を生かした協働的な指導」をテーマに、コロナ禍以降、初となる「公開研究会」を実施しました。講演会講師には、本校元校長で、現在明星大学教授の明官茂先生を迎え、助言者に6名の外部専門員の先生方、外部からは東京都の特別支援学校及び市内小学校から13名の参加者がありました。

今回の研究では、対象児童生徒の「流れ図」（学習指導要領解説の自立活動編にある「実態把握から具体的な指導内容を設定するまでの流れの例」）を、学部や学年などのグループに分かれてグループワークで作成後、講師からの助言を受け、指導方法についての検討を重ねる方法で研究を進めてきました。3年目になる今年度は、「自立活動の視点を生かした教科指導」の内容で研究を行いました。

公開研究会の外部参加者からのアンケートには「公開授業見学だけではなく、講演会、分科会（研究報告会）に参加することができて、多くの学びを得ることができた」「自立活動と各教科を結び付けて考えるために、児童生徒の様子を細かく観察するとともに、教員間で実態や手立てを共有することなど、今後の指導に生かしていきたいと思う」といった感想がありました。3年間の成果として、本校の教員の「自立活動」に対する理解が確実に深まり、生活上での指導及び学習全体、各教科指導の中に『自立活動』の視点をもつことが定着してきています。また、研究を進める中で、教員同士が意見やアイデアを出し合い、授業の工夫がなされ、「協働的な指導」も深まったことが、学校の財産にもなりました。

今年度で「自立活動」の研究は一区切りつきますが、この学びを糧に、教員同士の学び合いを大切にしながら、今後も日々の指導に役立てていきたいと考えています。



公開研究会・B小中分科会

本校で使用した流れ図。学習指導要領解説編を改変

自立活動 「実態把握から具体的な指導内容を設定するまでの流れ図」

学部・学年	教育部門	学部	年 組			
府志の経路：程度別コース等						
① 障害の状態、発達や経験の程度、興味・関心、学習や生活の中で見られる ○長所やよき、●課題等について自立活動の区分に即して整理する段階						
実態把握	健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
	○	○	○	○	○	○
＜アセスメントの概要＞ 認知面・視覚機能・運動面など						
認知面付けでなく、感覚処理面や視覚や聴覚機能なども						
収集した情報を3年後の姿の観点から整理する段階						
この時期までに、こうなってほしいという見通し。						
② 指導目標を話す段階 指導すべき目標、困難の克服と考えられる要因、自立活動の区分と項目						
③-1 具体的な活動内容もしくは最初自らがすべき活動を設定する段階 生活上の場面、学習上の場面						
日頃の関わりの中での指導、配慮事項は？						
特定の教科に限らず、いろいろな授業の中でできる場面設定や指導、配慮事項は？						
③-2 具体的な活動内容もしくは最初自らがすべき活動を設定する段階						
(1) ○○科の授業で、単元名『』						
(2) ○○科の授業で、単元名『』						
(1) ○○科の授業で、単元名『』						
(2) ○○科の授業で、単元名『』						

インクルフェス

2月1日(土)にインクルフェス2025が開催されました。町田の丘学園スポーツ部から、A小・中・高の児童・生徒7名が参加しました。体育の授業や日々の部活動で、パスの連携プレーや守備を繰り返し練習してきたフィールド選手、個別の課題に応じて、繰り返しシュート課題に励んだシューター。みんなで一丸となって大会に臨みました。

試合中、仲間に声を掛け、最後まであきらめずに頑張る児童・生徒の姿はとても輝いていて、心打たれるものがありました。

お忙しい中、応援くださいました保護者の皆様、誠にありがとうございました。



～A部門スポーツ部 活動報告～

7月～12月まで計4回、多摩桜の丘学園とボッチャやハンドサッカーで合同練習を実施しました。

競技を通じて切磋琢磨し合い、互いに交流を深めることができました。



2月15日(土)に東京都肢体不自由特別支援学校ハンドサッカー大会が開催されました。

町田の丘学園は、児童・生徒総勢7名が参加しました。結果は、2戦1勝1敗となりました。上級生を中心に力を合わせ、多くの方々に感動を与えることができました。



A部門スポーツ部 NEW ユニフォーム完成!! 児童・生徒も部活動Tシャツを着て試合に出たい!!と意気込んでいました。

～B 部門中学部 1 年 校外学習～

2月7日（金）に、日本オリンピックミュージアムと東京都庁に行きました。

行き帰りのロマンスカー、電車では、IC カードを自分でタッチする生徒が多く、静かにロマンスカーや電車に乗り、ルールを守って行動することができました。

日本オリンピックミュージアムでは、1964 年の東京オリンピックのメダルをかけたり、オリンピック選手とジャンプの高さを競ったりしました。

東京都庁では、昼食でカレーやラーメンを食べ、展望室にも行って、東京の景色を見ました。カレーは、少し辛かった生徒もいましたが、大人の味を知り、様々な経験をすることができました。



～B 部門高等部 2 年 情報教育～

一人1台端末である iPad やパソコン室では一人一台ずつパソコンを活用して学習を行っています。一人1台端末は場所を選ばずに使用できることから、情報の授業だけでなく幅広い教科で使用されており、意欲的に取り組む生徒が多いです。

パソコンを活用した学習では、表計算ソフトを用いたビジネス情報や検定に向けた入力練習、SNS の活用について学習をしています。



